

竹内幸絵・難波功士 編

広告の夜明け

大阪・万年社コレクション研究

A5判・320頁／定価：本体5,200円+税 ISBN978-4-7842-1911-7 <2017年10月刊行予定>

1890(明治23)年、大阪で一つの広告代理店が創業した——その名は「万年社」。

戦前・戦後を通して日本を代表する広告代理店の一つとして、1999年に倒産するまでのおよそ100年の間に、同社が広告研究のために収集した広告資料や文献などの「万年社コレクション」は、日本の黎明期広告業界の実態がうかがえる貴重な歴史的資料群である。

本論集では、おもに万年社の創業時から戦前までの紙媒体資料を用いて、同時代の広告業界をさまざまな角度から活写する。

予定目次

万年社の創業と高木貞衛 (仮)
高木貞衛の白いハンケチ

山本武利
津金澤聡廣

Ⅰ 「屋外広告界に雄飛をなす」

竹内幸絵

万年社とGM

難波功士

広告掲載料からみる雑誌メディア

石田あゆ

万年社における連合広告

熊倉一紗

万年社コレクションにみるアジアの新聞と広告

土屋礼子

コラム

高木貞衛のキリスト教

菅谷富夫

万年社コレクションの中のチラシ広告

大石真澄

広告漫画と万年社

松井広志

Ⅱ 大阪の広告業界に生まれた「水曜会」百年の由緒 アジア・太平洋戦争期における国家宣伝と広告業界 万年社と博覧会

木原勝也

中嶋晋平

村瀬敬子

コラム

中国大陸における中島眞雄の新聞活動と広告

華京碩

京都岡崎の広告意匠展覧会／大学の新聞広告

樋口摩彌



「ポスター、広報誌、宣伝と広告」オーストリア、1914年
(万年社コレクションより)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-533-6860 fax075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	広告の夜明け	本体5,200円(税別)	ISBN978-4-7842-1911-7	
お名前			tel	本書HPのQRコード	
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

雑誌『大大阪』CD-ROM

大阪都市協会企画発行

大正14年～昭和19年

◎雑誌『大大阪』の大正14年12月～昭和19年1月までの全巻約33000ページをスキャナーで読み取りそのままCD-ROM2枚に収録。

◎題名・著者名・刊行年月・分野・キーワード(1論文につき10単語以内で登録済)の5検索が可能。

【収録内容】

都市制度、地方行政制度、都市計画(道路橋梁、港湾、河川など)、公営企業(市電、市バス、上下水道、電力など)、産業経済(商工業、貿易など)、社会福祉、公害、医療衛生、清掃、教育、税財政制度、演劇、映画、文学、芸術、社会風俗、地誌風景など

▶CD-ROM2枚組/本体95,000円(税別)

ISBN4-7842-0985-9

※総合教育センター専売商品につき、ご購入についてのお問い合わせは、フリーダイヤル0120-435-288まで

万国博覧会と人間の歴史

佐野真由子編

1851年ロンドンから始まり今日まで連綿と続く万国博覧会。従来の研究の枠組みを超え、多様な領域の研究者や政府関係者、業界関係者が集い議論を重ねた共同研究の成果。万国博覧会から人間の歴史が見える!

▶A5判・758頁/本体9,200円(税別)

ISBN978-4-7842-1819-6

パリ万国博覧会とジャポニズムの誕生

寺本敬子著

日本が初めて公式参加した1867年パリ博、ジャポニズムが開花する1878年のパリ博。ふたつのパリ万国博を舞台に交差する国家の思惑、人と物。日仏両国の史料を駆使し、開催国フランス・参加国日本・パリの観衆、3者の相互作用を通じてジャポニズムの誕生を解き明かす。

▶A5判・370頁/本体6,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1888-2

近代日本〈陳列所〉研究

三宅拓也著

地方行政によって建設された公共の陳列施設が、都市の農業・工業・商業を奨励する目的で各地に設置された経緯を検証し、制度・活動・建築を含めて都市との関わりに注目することで、明治から昭和戦前期の日本にあまねく普及した〈陳列所〉の実態を、豊富な図版とともに明らかにする。

▶A5判・640頁/本体7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1788-5

海賊史観からみた世界史の再構築

稲賀繁美編

交易と情報流通の現在を問い直す

文化交渉・交易全般における「海賊行為」を総合的に再検討することを目的とし、国際日本文化研究センターで行われた共同研究の報告書。狭義の美術史、文化史、交易史のみならず、経済史、国際法、情報流通論などの分野の知見をも学際的に取り入れ、国際的視野から葛藤の現場を解明する。

▶A5判・852頁/本体14,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1881-3

通天楼日記 横山松三郎と明治初期の写真・洋画・印刷

富坂賢・柏木智雄・岡塚章子編

横山松三郎が上野池之端に開業した写真館兼私塾・通天楼での出来事を記した日記「通天楼日記」の翻刻と影印、ならびに横山松三郎自らが記した履歴書である「横山松三郎自筆手記」、門人である亀井至一・下國龍之輔らが作成した「横山先生履歴草稿」の翻刻を収録。黎明期の日本写真史・洋画史・印刷史の実態を明らかにする一級の史料群。

▶A5判・602頁/本体16,400円(税別)

ISBN978-4-7842-1729-8

応用美術思想導入の歴史

天貝義教著

ウィーン博参同より意匠条例制定まで

応用美術=美術を工業に利用すること。「博覧」「伝習」「勸業」を目的としたウィーン万国博覧会への日本初参加から二度の内国勸業博覧会を経て、「デザインの法」である意匠条例が制定されるまで、応用美術思想がいかに学習され、明治期の美術・工芸界において指導的役割を果たしていったかを明らかにする。

▶A5判・410頁/本体7,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1505-8

アーツ・アンド・クラフツと日本

デザイン史フォーラム編

19世紀後半から20世紀初頭にかけて英国で繰り広げられた「生活」のための工芸運動=アーツ・アンド・クラフツ運動と日本との関わりをさまざまな視点から論じ、デザイン・工芸・美術・社会・産業・環境・生活などの立体的な関係を考察する一助とする。

▶A5判・306頁/本体2,900円(税別)

ISBN4-7842-1207-8

住友の歴史 [上巻・下巻]

朝尾直弘監修/住友史料館編

近世初頭から銅の精錬を業とし、その後金融・貿易などをも手がけ、近代の財閥につながる豪商の典型である住友の歴史をわかりやすく紹介。連綿と受け継がれる住友精神の源泉がここにある。

上巻▶46判・286頁/本体1,700円(税別) ISBN978-4-7842-1703-8

下巻▶46判・322頁/本体1,700円(税別) ISBN978-4-7842-1762-5

京都 近代美術工芸のネットワーク

並木誠士・青木美保子編

人を中心とした近代京都の美術工芸にまつわるヒト・モノ・コトのネットワーク=「面」からアプローチし、ビッグネームだけでは構築されない美術工芸の現場をあぶり出す。『京都 伝統工芸の近代』の続編。【執筆】並木誠士・山田由希代・和田積希・青木美保子・三宅拓也。岡達也・清水愛子・上田文

▶A5判・352頁/本体2,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1882-0

明治博物館事始め [オンデマンド版]

椎名仙卓著

明治初期、近代化と博覧会ブームを背景に次々と誕生した博物館、その「正史」からはこぼれがちな興味深いエピソードを通して、明治という時代が鮮やかに甦る。巻末に「主要参考文献」「博物館変遷図」「明治博物館年表」を付す。オンデマンド版(初版1989年)。

▶46判・268頁/本体4,800円(税別)

ISBN978-4-7842-7002-6

劇場の近代化 帝国劇場・築地小劇場・東京宝塚劇場

永井聡子著

明治・大正・昭和初期における劇場の近代化に大きな影響を与えた3つの劇場、帝国劇場(明治44年開場)・築地小劇場(大正13年開場)・東京宝塚劇場(昭和9年開場)を取り上げ、当時のさまざまな言説、図版、写真、インタビューなどの資料を読み解き、西洋の劇場近代化過程とも比較しながら日本の劇場の近代化の特色を描きだす。

▶A5判・230頁/本体3,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1737-3

国際デザイン史 日本の意匠と東西交流

デザイン史フォーラム編

1999・2000年に開催された「国際デザイン史フォーラム」(大阪大学大学院文学研究科美学研究室主催)をもとに、デザイン史における日本と西洋諸国との交流を探る56篇を収録。各国の冒頭には、年表と概説的解説を付す。豊富な挿図(モノクロ)約180点掲載。

▶A5判・304頁/本体2,900円(税別)

ISBN4-7842-1079-2

※近代工芸運動とデザイン史

デザイン史フォーラム編

「近代工芸運動」という視点を導入することにより、「近代デザイン史」という視点では抜け落ちている、各国における芸術分野での歴史・重要な動向を様々な点から解き明かす。

▶A5判・336頁/本体2,900円(税別)

ISBN978-4-7842-1438-9

日本産業技術史事典

日本産業技術史学会編

明治維新以降、めざましい発展を遂げてきた近代化の歩みを支えた産業技術の変遷を跡づける。23の大項目と344の小項目で系統的・組織的に日本の産業技術史を俯瞰した画期的な事典。近代化以前からの「草の根」における技術と技能の蓄積に対しても光を当て、民間の「現場」の力を重視する。

▶B5判・550頁/本体12,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1345-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。